



様式第4号（第7条関係）

令和元年8月8日

東かがわ市議会議長
橋本 守 様

会派：同志会
氏名 工藤正和



行政視察等報告書

1	日 時	令和元年8月5日（月）～令和元年8月6日（火）	
2	参加者	同志会：田中貞男、大田稔子、工藤正和、朝川弘規、堤弘行 有志会：中川利雄、橋本守	
3	研修目的等	内 容	研修場所
		学校プール廃止に伴う市営プール活用について	神奈川県海老名市 8/5
		奨学金返還補助事業について	神奈川県海老名市 8/5
		香川アンテナショップについて	東京都港区新橋他 8/6
4	研修・調査内容	海老名市の概要 人 口 132,889 人 世帯数 56,673 世帯 （H31. 4. 1 現在） 面 積 26.59 km ² 海老名市は神奈川県のほぼ中央に位置し、市域は南北に長い。相模川の左岸に位置し、西部は広大な平地が広がるが、河岸段丘の地形から東部は高台となっている。北部・西部は鉄道路線が交錯しており、南部は東名高速道路が通過している。東京から50km（鉄道で約1時間）及び横浜から20kmの圏内にあり、横浜・東京のベッドタウンとして注目を集めている。同時に市内には多くの田園地帯を抱えていて、農業緑地と都市住宅が共存している市でもある。 海老名市の小学校プール廃止に伴う市営プール活用では、小中学校のプールを廃止し、既存の市内にある4施設の屋内温水プールを活用する取組みを行っている。また、海老名市では若者定住促進事業として市内で暮らす若者に対し、学生家賃補助事業として市外から転入する学生に対する家賃補助と、奨学金返還補助事業として奨学金の返還を行っている人で、市外から転入者及び市内在住の方を対象に補助の2つの制度を設けて若者の生活をバックアップしていく取組みを行っている。	

費用 45,583円

5	研修成果	<p>海老名市の小中学校プール廃止経緯は、学校屋外プールは使用期間も限られ、授業回数が保障できないことや、児童・生徒への安全面や、維持費と老朽化による改修費を勘案し、市として、小中学校プールの廃止検討を進めた結果、学校プール事業より屋内プールの授業が優位と判断に至り、小学校13校、中学校6校全校で廃止した。効果・指導面の充実は、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 授業当日の気温、水温に関係なく水泳指導計画に基づき計画的に授業が実施できる。 ② プール管理の必要がなく、教員は生徒児童への直接指導に集中できる。 ③ 安全面の向上として、日本赤十字社の救助員の資格を有するプール監視員が常駐し監視体制が強化される。 ④ プール維持管理費、水質管理を行う教職員の負担軽減。 ⑤ 大規模改修工事が不要となる。 ⑥ 水道代等の維持管理が不要となる。 ⑦ 施設改修費が不要となる。 <p>平成30年度屋内プール水泳学習事業費（水泳指導委託、移送用バス借料）は27,100千円の予算計上している。</p> <p>海老名市は人口密集度の高いエリアに4つの市営プールが在り全学校プールの廃止、機能代替を可能にしたと判断できる。安全面、管理面、教員の負担軽減等、屋内プール利用のメリットは大きい。東かがわ市も水泳事業の見直しを図る時期に来ているとして水泳学習の方向性を探っているが、屋内プールが1つしかない東かがわ市では、直ちに全廃は困難としても公共施設マネジメントの視点からも、外部屋内プールへの移行は必要と考える。一方、学校プールから外部屋内プールに機能代替を進める場合、それにより生じるデメリットについても慎重に検討する必要があると考える。</p> <p>若者の定住促進事業として、学生の家賃と奨学金返済に対する補助制度で若者を市外から呼び込むとともに、奨学金返済に関しては市内在住者も対象にすることで転出を防ぎ、将来的な人口の増加を図る狙いがある。</p> <p>次にJR「新橋駅」の目の前に位置する「香川・愛媛せとうち旬彩館」新橋は丸の内や品川に連なるビジネス街で、サラリーマンの街としても知られ、汐留や銀座などおしゃれな街にも近く、さらには横浜方面へもアクセスの良い便利な場所である。お客さまの層も幅広く、平日は主婦層やサラリーマン・OLを中心に、週末は家族連れや観光客で賑わっている。1階の「特産品ショップ」では、東かがわ市の業者の商品も販売され、2階にはレストラン「郷土・せとうち料理かおりひめ」と「工芸品・雑貨ショップ」を設け、香川と愛媛の魅力を多彩に届けられていた。</p>
---	------	--